

保坂祐二・徐敬徳・朴起台三氏の問題点

平成 31 年 3 月 10 日

(下條)

1. 「竹島の日」及び竹島問題に関連した三氏の動き

(1) 保坂祐二氏

- ① 我が文化を育む会編「歴史の中の多くの証拠」(カレンダー)の解説翻訳
- ② 日本の国会議員全員に送付→未着
- ③ 歴史的根拠のない史料「世宗実録地理志」、「隠州視聴合記」、「改正日本輿地路程全図」、「三国通覧輿地路程全図」、「大三国地図」、「太政官指令」、「勅令第 41 号」、「朝鮮語辞典」、「韓海通漁指針」、「りゃんこ島領土編入並びに貸し下げ願い」、1905 年 1 月 28 日の「閣議決定」、「陸地測量部発地図区域一覧図」

(2) 徐敬徳氏

- ① 『日本人が知らない独島 10 の真実』で勉強せよ
→「韓国が知らない独島の 10 の虚偽」(島根県ウェブ竹島問題研究所に掲載)
- ② 歴史を学べと新藤義孝議員に送付→到着

(3) 朴起台氏の影響

- ① 『独島を正しく知る』→VANKを推奨
- ② 葉書・手紙・海外広報のモデル
- ③ VANK・聯合ニュース共催「2019 国家ブランドアップ展示会」(中央博物館)

2. 三氏の共通点

- (1) 歴史を無視した煽動家(デマゴーグ)
- (2) アジテーターとしての役割(海外広報)
- (3) 東北アジア歴史財団・慶尚北道との関係

3. 将来的に三氏に対して批判攻勢をする意味

- (1) 認知度の高さ
- (2) 批判、論破することによる影響と効果
- (3) 歴史的事実に基づかない対外広報の実態を周知

4. web 竹島問題研究所を活用し、三氏の問題点を公開

- (1) 新たに三人を対象としたコーナーを設置
- (2) 持続的に反論
- (3) 韓国語に翻訳して公開